

# 授業改善推進プラン 国 語 [小学校第4～6学年]

昭島市立光華小学校

学年等	項目	内 容
令和 4 年度 第 4 学 年	学習に関する 児童の実態・課 題	○課題に真面目に意欲的に取り組む。 ▲漢字や言葉の言語の学習意欲はあるが身に付いていない。 ▲物語文でも説明的文章でも、文章の大体を理解しているが、読みが深まっていない。
	教科で身に付 けさせたい資 質・能力	・場面や段落相互の関係に着目して文章の構成に気付き、内容を理解する力 ・基礎的な言語力
	具体的な授業 改善の方策	・ブレ教材を用いて関係に着目した読み方(問い、答え、意見、事例、起承転結など)を確かめ、 それを用いて単元学習を進めるようにする。 ・授業の中でも並行読書を進め、読みの力を活かす機会を増やす。 ・読む学習や書く学習の中でも既習の漢字や言葉を押さえ活用させる。
	第4学年におけ る児童の達成 度と第5学年に 向けての課題	○漢字や言語事項については、授業で習熟の時間をとることで多少改善された。 ○ブレ教材を読んでから本教材で関係に着目した読みをしたことで、基本的な文章構成の理解や段落相 互の関係を考えることができるようになり、読みの力が高まってきた。 ○単元の中の並行読書で、教材文で学習した読みを活かすことができた。 ▲段落相互の関係をとらえて内容を読み取る力がついてきたので、読み取った内容を要約などの表現にも 活かしていけるようにしていきたい。
令和 5 年度 第 5 学 年	学習に関する 児童の実態・課 題	○物語文では、登場人物の気持ちや情景などの叙述を基に想像して読めており、単元テストは 平均80点以上を上回っている。 ▲語彙が乏しく、言葉の理解や語句の選択が苦手なため、言葉の知識・理解が不足している。 ▲自分の考えを書くことに苦手意識をもつ児童が多い。
	教科で身に付 けさせたい資 質・能力	・目的に応じて自分の考えが伝わるように書き表したり話したりする力 ・既習漢字を使って文を書く力 ・豊かな語彙力
	具体的な授業 改善の方策	・朝学習の時間を学年で共通して確保する。取り組む課題も学年で共有する。 ・定期的に漢字の小テストを行い、取り組みや結果の振り返りを継続する中で、個人内評価や意 欲を高められるようにする。 ・読書から語彙を増やしていけるように図書の時間や読書の時間を積極的に設ける。
	第5学年におけ る児童の達成 度と第6学年に 向けての課題	
令和 6 年度 第 6 学 年	学習に関する 児童の実態・課 題	
	教科で身に付 けさせたい資 質・能力	
	具体的な授業 改善の方策	
	小学校6年間 のまとめと中学 校への引継事 項	